

ImmunoCAP 特異的 IgE 検査を ご愛顧頂いている先生方へ



このたび吸入アレルゲン特異的IgE検査の際にご活用
頂ける患者様向けの指導補助ツールを監修致しました。
大変わかりやすくまとまっておりますので、ぜひ診療に
お役立て下さい。

宮本 昭正 東京大学名誉教授 / 日本アレルギー協会 理事長

「吸入系アレルゲン指導箋A」の特徴と利点

表面 原因アレルゲン別の指導がしやすい

- 主な吸入系アレルゲン18項目とアレルゲンの写真およびその説明
- 一目でわかる、よくある場所のイラストと花粉アレルゲンカレンダー
- 注意が必要なアレルゲンチェック欄



裏面 より具体的な除去・回避指導がしやすい

- 原因アレルゲンに対するセルフケアと薬物療法の重要性を強調
- 子どものアレルギー症状にも対応
- 屋内・屋外でのセルフケアの注意点をイラストで表示



「吸入系アレルゲン指導箋A」(A4横両面カラー・10枚綴り) をご希望の方は
弊社検査センターもしくはファディア株式会社までご用命下さい。

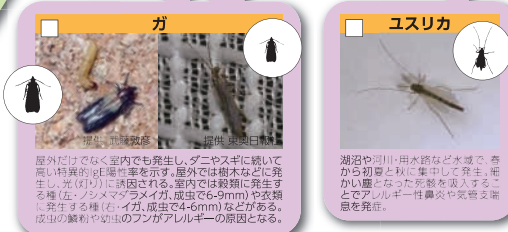
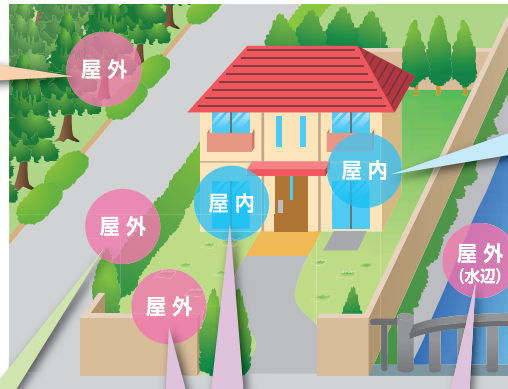
ファディア株式会社

e-mail dakara-ic.idd@thermofisher.com
Tel 0120-489-211 (月～金 9:00～17:30)

「吸入系アレルギー指導箋 A」 (A4 横両面カラー・10 枚綴り)

今回の検査から注意を要するアレルギー

監修 宮本 昭正 先生
日本アレルギー協会 理事長 東京大学名誉教授



アレルギーカレンダー (注意が必要な時期)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
樹木		ハナノキ	スギ	ヒノキ	シラカンバ							
イネ科					カモガヤ・ハルガヤ・オオアワガエリ など							
雑草								ブタクサ・ヨモギ など				

植生および時期は地域により若干異なります。



お名前	検査日
様	
メモ	

アレルギー性疾患の治療の柱は セルフケア と 薬物療法 です



原因アレルギーを特定し、セルフケアにより除去・回避する必要があります

お薬は、医師の指示通りに使用し、定期的に受診し治療を続けましょう

子どもと大人のセルフケア：吸入アレルギーの除去・回避のポイント

- 症状を悪化させる要素をできる限り減らしていくことが大事です。
- 規則正しい生活・バランスの良い食事：風邪などの疾患は花粉症・アレルギーを悪化させます。
 - 受動喫煙を最大限避ける：家庭内はもちろん、外出先でも。副流煙は危険な因子です。
 - 花粉情報の利用 (テレビ・新聞・インターネット)：外出時間・時間帯の調整をしましょう。マスク・ゴーグルも有効。
 - 鼻をすすらせず、かむ習慣を身に付けさせる：耳やのど・呼吸器へも悪影響を及ぼします。
 - 鼻かみの練習：2、3歳から、鼻水を見たら、その場で片方ずつ、根気よく。
 - 目や鼻をこすらせない：こする影響を減らせるよう、手の爪を短く切り、清潔にしておく。
 - 洗濯物や衣服に付いた花粉を家の中に入れないように気をつける。特に寝具・寝室・布系おもちゃ。
 - 帰宅時にはうがい・洗顔・鼻かみの3点セットをする。



花粉の季節には

外出時

- マスクを着用する
- コート、スカーフ、帽子を身に着ける
- すべりの良い生地の服を着る
- めがねまたはゴーグルをかける
- 原因植物になるべく近づかない

帰宅時

- 衣服や髪をよくはらってから家に入る
- 洗顔、うがい、鼻をかく
- 人工涙液を1回数滴、頻回に点眼
- 点眼薬は防腐剤無添加のものが望ましい
- カップ式洗眼器具は避ける
- 目がかゆい時はまぶたの上から冷たいタオルで冷やす



ファディア株式会社

アレルギーに関する情報は ▶ アレルギーがいっぱい 検索

1307-ST-433-1

Thermo
SCIENTIFIC